

日本語文化学会



第48回研究会

2014年6月28日(土) 午後1時00分～

お茶の水女子大学共通講義棟1号館3階、4階

(正門からお越しください)

参加費:500円

予約不要 ※直接会場までどうぞ ※会員は参加費無料

①開会挨拶・ポスター紹介 午後1時00分～ 304教室

②講演会 午後1時30分～2時30分 304教室

水谷 信子先生 (お茶の水女子大学名誉教授、前明海大学教授)

「日本語教育の経験と日本語の考察」

③ポスター発表 午後2時35分～3時25分

403教室: 「JFL 環境における韓国日本語学習者の異文化比較体験から得る学び —日本と韓国の茶道体験を導入した授業の実践報告—」

山中 弘子 (お茶の水女子大学大学院生)

「日・韓バイリンガル韓国語母語話者のコード・スイッチングに関する考察—言語生活に対する意識を中心に—」

姜 仁寧 (目白大学大学院修了生)

404教室: 「日本在住台湾出身日本語上級者の日本イメージ」

田中 詩子 (お茶の水女子大学大学院生)・岡村 郁子 (首都大学東京)・加賀美 常美代 (お茶の水女子大学)

「アルバイトの目的とアルバイトを通して得た肯定感—中国人女子私費留学生の場合—」

黄 美蘭 (お茶の水女子大学大学院リサーチフェロー)

④口頭発表 午後3時30分～5時40分

	3時30分～4時10分	4時15分～4時55分	5時00分～5時40分
第1分科会 302教室	中国大学日本語専攻学習者の 感じる会話授業の問題点と 改善への期待—半構造化インタビュー —をデータとして— 秦 松梅 (お茶の水女子大学大学院生)	インドネシア人看護師候補者の 援助ニーズ —EPA 応募動機、困難との 関連から— 池田 聖子 (お茶の水女子大学大学院生)	中学国語の教科学習支援に 関わった日系南米人の 当事者性獲得のプロセス 宇津木 奈美子(帝京大学)
第2分科会 303教室	待遇の観点から見た新たな文体の 分類の試み —言語表現の有する「相手目当て性」を 中心に— 李 址遠 (早稲田大学大学院生)	学習者主体の継続的 課外活動デザインの提案 —社会文化能力の育成を目指して— 宮岡 余里子 (千代田国際語学院駒込校)	—

⑤閉会挨拶 午後5時45分～ 304教室 ■交流会 午後6時30分～